



例題と解説

例題 1

次の計算をなさい。

- (1) 25×4
- (2) 2.5×4
- (3) 2.5×0.4
- (4) 0.25×4

答え (1) 100 , (2) 10 , (3) 1 , (4) 1

[例題 1 の解説]

- (1) $25 \times 4 = 100$
- (2) $25 \times 4 = 100$ であることをもとに考えると、 2.5×4 は小数点以下が1つなので、 $2.5 \times 4 = 10$
- (3) $25 \times 4 = 100$ であることをもとに考えると、 2.5×0.4 は小数点以下が2つなので、 $2.5 \times 0.4 = 1$
- (4) $25 \times 4 = 100$ であることをもとに考えると、 0.25×4 は小数点以下が2つなので、 $0.25 \times 4 = 1$

例題 2

次の計算をなさい。

- (1) 125×8
- (2) 12.5×8
- (3) 1.25×8
- (4) 1.25×0.8

答え (1) 1000 , (2) 100 , (3) 10 , (4) 1

[例題 2 の解説]

- (1) $125 \times 8 = 1000$
- (2) $125 \times 8 = 1000$ であることをもとに考えると、 12.5×8 は小数点以下が1つなので、 $12.5 \times 8 = 100$
- (3) $125 \times 8 = 1000$ であることをもとに考えると、 1.25×8 は小数点以下が2つなので、 $1.25 \times 8 = 10$
- (4) $125 \times 8 = 1000$ であることをもとに考えると、 1.25×0.8 は小数点以下が2つなので、 $1.25 \times 0.8 = 1$



例題と解説

例題 3

次の計算をなさい。 $2.7 \times 3.6 + 2.7 \times 6.4$

答え 27

[例題 3 の解説]

分配法則を利用しましょう。

$$2.7 \times 3.6 + 2.7 \times 6.4 = 2.7 \times (3.6 + 6.4) = 2.7 \times 10 = 27$$

まちがしやすい小数の計算も工夫することですばやく^{せいかく}正確に答えを求めることができます。

例題 4

次の計算をなさい。 $4 \times 0.13 + 0.12 \times 4$

答え 1

[例題 4 の解説]

$$4 \times 0.13 + 0.12 \times 4 = 4 \times 0.13 + 4 \times 0.12 = 4 \times (0.13 + 0.12) = 4 \times 0.25 = 1$$

25が4つで100になることを^{おぼ}覚えておきましょう。

$$\square \times 1.5 = 270 \text{ より、} \square = 270 \div 1.5 = 180 \text{円}$$

ポイントまとめ

- $2.5 \times 4 = 10$ 、 $0.25 \times 4 = 1$ 。 $25 \times 4 = 100$ をもとにして覚えておきましょう。
- $1.25 \times 8 = 10$ 、 $1.25 \times 0.8 = 1$ 。 $125 \times 8 = 100$ をもとにして覚えておきましょう。
- 小数も整数と同じように分配法則を利用することができます。